

普及活動情勢報告

情勢報告（平成29年2月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

ユズの安定生産を目指して～剪定講習会の開催～



切り方を検討する参加者

1月24日、JA高知はた十和支所柚子部会がせん定講習会を開催し、生産者9名の参加がありました。

普及所は、昨年、一昨年と豊作が続いたことから、隔年結果を防ぎ、収穫作業を容易にするためのせん定技術について説明しました。

前日からの積雪の残る寒い中、ベテラン農家が「この枝を残せ」「ここから切れ」と熱く指示を出し合いながら、せん定をすすめていき、ユズの樹はすっきりとした姿になりました。

普及所はJAとともに、柚子の安定生産に取り組んでいきます。

集落営農組織のステップアップに向けて ～大分県集落営先進地視察研修の開催～



視察先での研修の様子

2月7、8日、高南地域営農協議会企画・担い手部会で大分県の集落営農法人（3法人）へ先進地視察研修を行い、集落営農組織の構成員や関係機関合わせて28名が参加しました。

普及所は、参加者が集落営農の法人化に向けて取り組んでいただけるよう、視察先の情報収集や選定などを行いました。

生産者からは「これまでの視察研修と比べて、法人設立や生産の話だけではなく加工や販売についての話が聞くことができ、興味深かった。」などの声が聞かれました。

普及所はこれからも四万十町の集落営農組織の法人化に向けてJAや関係機関と連携して取り組んでいきます。

カントリーエレベーターの利用拡大の推進！ ～カントリーエレベーター総会の開催～



講演会の様子

2月18日JA四万十本所にてカントリーエレベーター年次総会が開催され、利用組合員76名が参加しました。

普及所は、本年度四万十町で多発したごま葉枯病に対して、発生軽減に向けた栽培管理等を指導しました。

また、これまでJAと取り組んできた米のブランド化について話をするとともに実需者（米穀店、卸）の講演会も開催しました。

組合員からは「米のブランド化について、実需者の考えや意見が聞けて良かった。」などの声が聞かれました。

普及所はこれからも米のブランド化や品質向上に向け、支援していきます。

トマトの高品質多収生産を目指して ～次世代施設園芸団地勉強会～



ハウスでの勉強会の様子

2月16日、四万十町次世代施設園芸団地で、トマトの栽培管理や今後の病害虫対策についての勉強会を行い、社員10名が参加しました。

団地内の栽培指導者が社員に対し、トップ葉かきの意味やタイミング等について指導し、普及所は今後増加が予想されるコナジラミの防除等について情報提供をしました。

高所作業台車に乗りながら、社員同士でも「どうすれば誘引作業がもっとスムーズにできるか」等、話し合いながらより早く作業できる方法について学び教え合う場になりました。

普及所はこれからも、次世代施設園芸団地において、トマトの高品質多収生産を達成するために、今後も様々なテーマで勉強会を行っていきます。